

仮設商店街を設置へ

なつかしい未来創造(株) あす、設立総会

陸前高田

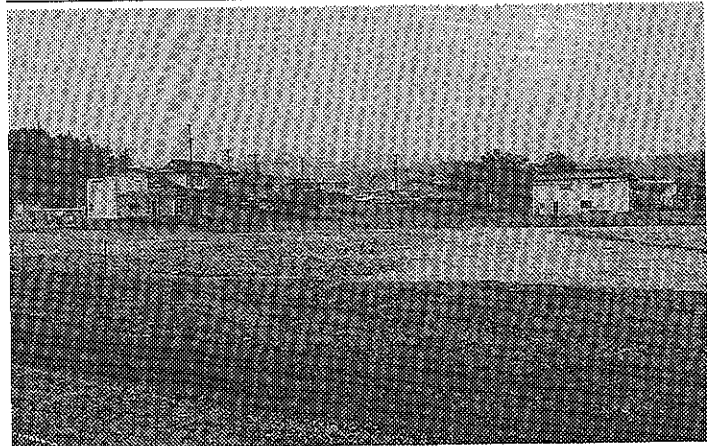
りを持てるまことに復興していきたくてつくり

陸前高田市内の中小企業など5社は23日、「なつかしい未来創造(株)」を設立する。11月には竹駒町相川地区に仮設商店街を設置する計画で、1005万から10万円とした市民ファンドによる資金調達を検討中。同日には新会社にかかわり、産業振興の内容を協議する生命産業振興協議会(仮称)も立ち上げる。

「なつかしい未来創造」を立ち上げるのは、(株)八木澤商店(河野通洋社長)、(株)高田自動車学校(田村清社長)、(有)橋勝商店(橋詰真司社長)、(株)長谷川建設(長

谷川順一社長)と、(株)シオエンジン・マンシエイツ(町野弘明社長、東京都)の5社。シオエンジン・マンシエイツは、さまざまな社会的課題の解決に向けた各種事業に取り組んでいる。

この発端は、市内産業界を中心として6月に発足した「陸前高田千年みらい創造会議」。復興の先にある「なつかしい未来」に向けて1000年先の子どものために何ができるかを考え、日本の古き良き心が残る陸前高田を子どもたちが自分のふるさととして誇



なつかしい未来創造(株)が設置する仮設商店街の予定地＝竹駒町

事業は①自然資本タウン②なつかしい未来地域創造③グリーン・サービス・ビジネス④防災メモリアル学研①の4本とし、太陽光発電や漁業・農業・林業体験ツアー、防災教育・研究などの各プロジェクトを掲げた。な

つかしい未来創造(株)による仮設商店街の設置は、②の事業に当たります。

商店街には、太陽光発電設備や間伐材を利用したバイオマス発電施設を設置。各店舗の電力をまかなうほか、電力会社への売電も視野に入れている。

新会社は、10年間を期限にした有限会社とする。田村氏は「それぞれが仕事をつくり、独立して一つの会社に成れば自分たちは役目を終えることができると話し、早期に各企業や商店が独立できるような道筋をついていきたい」としている。

資本金は300万円、株主配当、役員報酬はなし。代表取締役社長は田村氏が務める。竹駒町相川地区の私有地1400坪(約4600平方メートル)を受け、食料品店や日

用雑貨店など20店舗が入居する仮設商店街を設置する。